

「定款」の変更を終えて

日本包装管理士会

「定款見直し委員会」リーダー 道明 誠

関東甲信地方が6月に梅雨明けするのは気象庁の記録では初めてということでしたが、梅雨明けして間もない7月に中国・四国地方の広域が豪雨となり、尋常でない被害をもたらしました。被害を受けた地域の方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて6月28日（木）15時から開催された第52回日本包装管理士会（IPP）定時総会において、定款の変更が議決されました。定款はIPPのいわば憲法として、目的、組織、運営に関する基本規則を文書化したものであり、会員皆様の向かうべき方向性（ベクトル）を明示したものです。今回、定款を10年ぶりに全面的に変更しました。

IPPは、一昨年50周年を迎え、お祝いをしました。そして100周年に向け新たに歩み始めました。会員数2,500人を超えた巨大組織だった時代もありましたが、現在では約650人に減少しています。

我々IPPがどのような方向に進んでいくのかを、今まで以上に考えていくことが必要と思います。今回、定款見直しを進めるにあたり、オブザーバーから「初心忘るべからず」との意見が出されましたので、「日本包装管理士会50年史」14頁にある初代会長中山武男氏の回顧録抜粋を読み、委員全員で共有化しました。

「昭和41年12月25日に第1期修了者が、講座研修委員であった河野元生氏、長谷川良雄氏、星野茂雄氏の臨席を仰いで親睦と勉強をかねた包装管理士会を組織した。」これが正にIPPの原点であり、脈々と引き継がれた精神の基盤となっています。我々、IPPは一体何者であり、何を目的として活動している団体なのか？また、今後、将来のあるべき姿とは何なのか？といったことを、定款見直し委員は初心に戻りとことん議論しました。また活動実態に合致した内容への見直し、支部間の交付金公平性の確保、定款内の「章建て」「規程や条文間の関連性」「文章表現」「用語の統一」を含めた内容の解り易さ、見易さを全面的に変更しました。今回の定款見直しは、8名の委員と支部長ならびに1名の会員（オブザーバー）により作業を進め、祝日の朝10時に集まり夕方の5時までみっちり議論した日もありました。またメールにおいても侃々諤々、意見をぶつけ合いました。会員の皆様におかれましては、生まれ変わったIPPの憲法でもある定款をぜひご一読いただき、疑問点やご意見をいただければ幸いです。

最後になりましたが、定款見直しにご協力いただきました委員や事務局の皆様、ならびに総会でご審議・ご承認くださった会員の皆様に、この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございます。

《INDEX》

定時総会	2
支部だより	4



PACKAGING INFORMATION
包装技術者の連携と協力をめざす

日本包装管理士会 会報
No.125

ipp
news

ipp news
2018年8月25日発行
編集人／荒井拓哉
発行／日本包装管理士会
東京都中央区築地4-1-1
TEL 03-3543-9250

第52回日本包装管理士会定時総会開催される

第52回定時総会を終えて

日本包装管理士会 会長 山田 孝志



開会の挨拶をする山田会長

6月28日、第52回日本包装管理士会定時総会がJPIの園山事務局長、日本包装専士会の嶋事務局長、日本包装コンサルタント協会の住本会長、技術士包装物流会の野田会長を来賓に迎えて行われました。出席者による活発な質疑応答が行われ、新年度の活動方針を初めとする5件の議案はすべて採択され、無事に定時総会を終えることができました。

本年度から変更された定款の下で、本会の運営を行っていきます。ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

日本包装技術協会理事 事務局長
園山 洋一様 祝辞



JPI 園山事務局長の来賓ご挨拶

初めに日本包装技術協会の諸行事につきましてIPPの皆さまにお世話になっておりますこと、この場をお借りしましてお礼申し上げます。

国内の人口というのが減り続けております。年間20万人減っていると聞いております。20万人と言いますと、島根県の松江市の人口にあたります。つまり島根県の松江にどのくらいのスーパー、コンビニ、お店があるか知りませんが、その店に1年間品物を納め続けても誰も買いに来ない、という恐ろしい状況かと思えます。これが5年分になると当然100万人になるわけで、仙台市の人口に匹敵します。つまり仙台市の皆さんが買われるものが一切なくなるという恐ろしい話となっております。そんな夜、パソコンで記事を検索しておりましたら心に残る短編が出ておりましたのでご披露させていただきます。

〈飛行機でフライト直前の機内で、白人の女性が、隣が黒人男性であったことに気が付き、アテンダントに「隣が黒人なのよ。席を替えてちょうだい」というと「お客様、当便は満席でございます。ただ、ファーストクラスには空席があるそうです。」そして女性客が何か言おうとする前に「当社ではエコノミークラスからファーストクラスへ席を替えるということは通常行っておりません。しかしながらあるお客様が不愉快なお客様の隣に座って過ごさざるを得ないという事態は当社にとって恥ずべきことと判断いたします。」そう言ってアテンダントはその黒人男性に「お手荷物をおまとめ頂けますか?もしお差支えなければファーストクラスへご案内いたします。」クレームをつけた女性ではなく、黒人男性の方がファーストクラスへ移ったという話なのです。〉

良い話には取扱説明書はいらないのかなということですが。こじつけかもしれませんけれども、パッケージにも良いパッケージには取扱説明書はいらないのかな、という気もいたします。最後になりますが、ここにお集まりの皆さまのご健勝とますますのご発展を祈念いたしましてご挨拶させていただきます。本日はどうもありがとうございました。

定時総会の経過

第1号議案の承認

2017年度事業経過報告（会長・山田 孝志氏）

会員動静は本年4月30日現在各支部合計652名です。この人数に対して本年度の会費の支払い請求を送っております。

・2017年度事業活動報告

重点課題5項目を踏まえ活動しました。

1. 会員の自己啓発による実力アップを支援する：会員による経験紹介や研究会活動活発化
2. ホームページを中心とする情報提供を豊富にし、会の充実を図る。
3. 会員の増強
4. 財政の充実

5. 関連機関との協力強化

- ・2017年「包装界10大ニュース」の選定
- ・定款見直し委員会

昨年の総会で定款の見直しをしますということになり、9月の理事会で委員会を発足しました。本日、4号議案・定款の見直し（案）を審議していただきたいと思います。

- ・収支決算報告（副会長・道明 誠氏）

2017年度の本部収支決算報告が行われた。

第2号議案の承認

2017年度会計監査報告（会計監事・福野 壽史氏）

公正妥当な会計習慣に従って作成されたことを確認しましたのでここにご報告いたします。

2017年度業務監査報告（業務監事・荒牧 哲氏）

年度活動計画を概ね達成、年度途中で定款見直し委員会が発足し、この総会で定款改訂審議にこぎつける成果を把握しております。最後に、2016年に会員数が、若干世代の退職・退官が終わったということだったので、2017年度また減少になったということをご報告します。

- 第1号議案、第2号議案は承認されました。



第1号議案を提案する山田会長

第3号議案の審議

・2018年度事業活動計画（会長・山田 孝志氏）

〈重点課題〉

1. 会員の自己研鑽による実力アップを支援する
2. ホームページの充実を図るため、見直し・リニューアルを検討する
3. 会員の満足度向上を図るための施策を検討する
4. 関連機関との協力強化

定年退職後も会員に残っていらっしゃる方も多数います。終生現役ということを考えますとそれに相応しい会の方向にもっていきたいと考えております。定款の改訂が行われてそれに沿った団体に進めば良いかなと考えております。東京パックの表現は英語併記ですが、ホームページはいまだに日本語だけということで、いずれは併記に着手したいと考えております。

- ・収支予算（案）（副会長・道明 誠氏）

2018年度の本部収支予算（案）の提案が行われた。

第3号議案質疑応答

斎藤 昇氏（東北支部）：「ippニュース」新年号の発行

時期ですが、原稿締め切りが12月のため新年賀詞交換会の記事が載せられません。2月発行にできませんでしょうか。

井上事務局長：発行時期は改めて検討いたします。

小林 弘侑氏：2018年度の予算で年会費が前年度の実績とほぼ同額になっていますが、会員数が横ばいであることとの関係はどう考えますか。

山田会長：支部活動費は昨年、監査の方から配分の見直しをするように言われ、今回から反映させています。中部支部以外の支部については改訂予定の定款に基づいて反映しましたので、若干増えている、もしくは横ばいということになっていると思います。

- 第3号議案は承認されました。

第4号議案 定款見直し（案）審議

（定款見直し委員会リーダー・道明 誠氏）

定款見直し委員会の経過が報告された。これから100周年に向けて包装管理士会に入って本当に良かったと思っただけの活動を行えるようにするにはどうするか、ということ定款見直し委員会を含めて皆さんと一緒に考えて行きたいと思っています。

今後の進め方ですが、この総会で定款（案）を決定いただければ次のステップとして規定を進める作業を始めます。

- 第4号議案は承認されました。

第5号議案 役員（案）審議（井上事務局長）

定款とも関連して支部長さんに本部のメンバーとして役員という形でお願いしております。それから22期の松本さんに理事に復帰、監事は福野さんに新しく監事をお願いし、17期の小林さんはもともと役員として活動してこられていて、今回監事を3名ということで小林さんに入っただき、今回就任の理事・監事が3名、それに支部長さんが入っての管理士会の役員（案）になっております。

- 第5号議案は承認されました。



東北支部からご出席 左から阿部忠美氏、鈴木支部長、斎藤事務局長

以上で第52回定時総会は閉会し、懇親会に移りました。

北海道支部だより ●●●

北海道支部長 酒井 幸彦（36期）

IPP会員の皆様には、ご活躍の事とお慶び申し上げます。

又、この度の西日本豪雨の被害に合われた方には心よりお見舞い申し上げます。

北海道も6月は雨が続き一部の河川も氾濫し、果樹（さくらんぼ等）を含めた農作物に多大な被害をもたらし、又低温により寒い日々が続き、ようやく本稿を執筆中に夏らしい日となりました。

今回のような異常気象は、温暖化現象に起因するのでは?と思います。先日あるTV番組を見ていましたら、アフリカの雄大な「キリマンジャロ」の氷河が映し出されおり、その番組の中で「キリマンジャロ」の氷河が20年後にはなくなるだろうとの事です。まさに温暖化の影響です。よく「北海道の米は美味しい」と言う言葉が聞かれますが、品種改良の成果と生産者の方たちの努力の賜物だと思いますが、温暖化も一因かもしれません。逆に冷涼な北海道らしい果樹、メロンなどは収量が減少しております。又、水温が1度上がるだけで、本来獲れる魚が不漁となり、

水産業に大きな影響を及ぼし包装資材に携わる者としては死活問題になりかねない状況です。

我々包装人は資材を売れば良いという訳ではなく、常に環境を考えながら「地球に優しい」製品を追求して行きたいと思います。

このような状況ですが、北海道支部恒例のビール会を今年も7月20日に行います、重たい空気を皆でジンギスカンを食べ、ビールを飲みながら吹き飛ばす予定です。

IPP会員の皆様、北海道はこれから過ごしやすい季節となります、ジンギスカンを食べ、ビールを飲みには是非北海道へお越しください。

【北海道支部総会】

北海道支部の平成29年度総会を5月23日、札幌すみれホテルにて開催致しました。平成29年度決算報告及び平成30年度事業計画案を説明、了承頂き今年度をスタート致しました。

東北支部だより ●●●

東北支部長 鈴木 雅彦（23期）

2018年6月22日に東北支部総会を開催致しました。その後仙台市内を一望できる居酒屋に場所を移し、ちょっと早い時間からの懇親会。当日は梅雨の晴れ間でとても良い天気、眺望も大変良かったです。最近の天候の話で盛り上がり、東北地方では農作物・果物の出荷がとても心配です。山形で「佐藤錦」の名前で有名なさくらんぼも、やっと一週間前に出荷が始まったとの事です。東北支部の会員は同業者が多くどうしても話題は景気の話になりがちですが、大震災から7年、未だ進まぬ復興についても会員から情報が提供されました。

この一年の活動を考えると、日本包装技術協会東北支部と連携した活動を主体に行い包装から経営や教育などの活動を行えました。会員が広域に分散しているためにサービスの提供が行き渡りませんが、今年度も会員の皆様に有益になる事業を日本包装技術協会東北支部と共に計画し、ご提供してゆこうと考えております。10月にはバスを仕立てての工場見学会も計画していますが、企画事業についてご要望有れば何なりと頂ければ幸いです。包装を通して東北地方の発展に頑張りましょう。



仙台市内を一望



懇親会

中部支部だより

中部支部長 岡部 智（27期）

梅雨真っ盛りの6月27日に包装資材研究例会をJPIとの共催で、参加者83名を集めて盛会に開催しました。段ボールパレットの強度研究と新素材成形トレイ「ピークス®」の紹介と可変構造を持ったスチールコンテナの開発の3テーマの発表で、ぎっしりの参加者で多くの関心があった内容でした。



包装資材研究例会発表（もりや産業㈱）



包装資材研究例会発表（川上産業㈱）



包装資材研究例会（㈱デンソーエアクール）

その後、同会場で中部支部平成30年度定期総会を開催しました。

事業案と予算案の説明の後、中部支部会則を現状に沿った内容に改正することを審議いただきました。今後は会則を会員全員の共通認識としていくため、毎年の議案書巻末に載せることにします。

また新たな事業として12月に2018日本パッケージングコンテストに入賞された中部圏会員の作品発表会をJPI中部支部が開催しますので、IPP中部支部も共催させていただくことにしました。今年は東京パックス会場で入賞作品を多くの方々に見て戴けますが、会場でご覧いただけない方にも中部圏の入賞作品と開発のお話を聞ける発表会という内容ですので、共催の意義があるものと思います。

また来年にはIPP中部支部設立50周年を迎えますので、今年から記念事業を出来るように準備のため運営委員兼任で実行委員会を立ち上げます。多くの中部支部会員の皆様に喜んでいただけるような企画を考えますので楽しみにしていただければと思います。



IPP中部支部定期総会風景



IPP中部支部定期総会②

◆第41回日本包装管理士会西日本支部定時総会

第41回日本包装管理士会西日本支部定時総会を、2018年5月25日（金）12時30分より、インペリアルパレスシティホテル福岡（福岡市博多区）の会議室にて開催しました。

2017年度事業報告・決算報告ならびに2018年度事業計画・予算案を審議しました。

役員は昨年度に引き続き担当制とし、以下の通り選任されました。

・支部長：中村 格勇

・副支部長：上橋 健一

（事業・広報・IPPホームページ）

・副支部長：森永 浩史（事業・JPI）

・事務局長：八田 彰

・理事：末松 洋亮（広報・監査）

・理事：藤生 廣来（渉外・交流会・主任監査）

今年度もJPI様との協力関係のもと、限られた資源ではありますが、できる限り充実した事業企画を目指していきます。

2018年度の事業企画は以下の通り計画しております。皆様のご参加をお待ちしています。

・講演会：1回（7月）

・見学会：2～4社（予定）

・研究会：2回（5月、11月）

◆生活・輸送包装研究会

JPI西日本支部、日本倉庫協会との共催事業で「生活・輸送包装研究会」を開催しました。募集人数を上回る皆様にご参加いただき、大変盛況な研究会となりました。

・日程：2018年5月25日（金）13：30～16：40

・場所：インペリアルパレスシティホテル福岡

・第一部：

（テーマ）音で調べるおいしさ評価～食感測定

（講師）一般財団法人日本食品分析センター

名古屋支所 内村 太至様

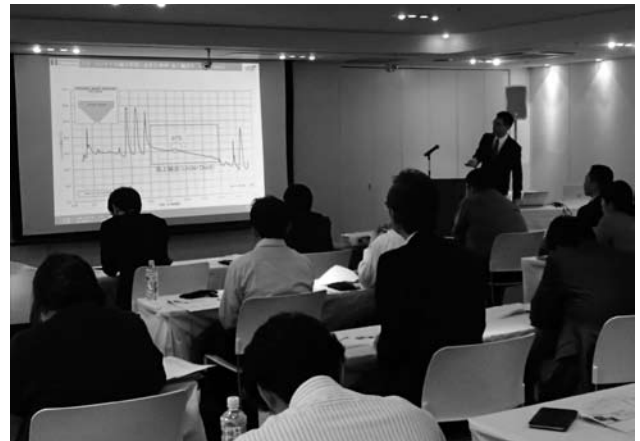
・第二部：

（テーマ）コンテナ内の温湿度変化のメカニズムと対策

（講師）株式会社MTI 営業グループ

上席研究員 高橋 寿和様

・参加者：34名



生活・輸送包装研究会

◆見学会

JPI西日本支部、日本倉庫協会との共催事業で「ニビシ醤油(株)見学会」を開催しました。

同社は福岡県古賀市に本社を置く、醤油・味噌・スープなどを製造する九州を代表する調味料メーカーです。

2019年に創業100周年を迎えるにあたり「生き残りをかけた設備投資」を行い、徹底した食品衛生を実現しています。工場見学では最新の製造ライン、包装設備などを見学しました。質疑も活発に行われ、有意義な見学会となりました。

・日程：2018年4月20日（金）14：00～15：30

・参加者：21名



見学会

関東支部だより

第46回関東支部定時総会

関東支部 事務局

2018年6月28日、第46回日本包装管理会関東支部定時総会が開催されました。総会は、16名の出席者と120名の委任者数によって成立し、出席者による活発な質疑応答が行われ、新年度の事業活動計画及び収支予算(案)を初めとする5件の議案はすべて承認され、無事に定時総会を終了しました。

議事に先立ち、古平関東支部長からは「今年度は役員改正期にあたり、関東支部の活性化のため4人の新しい理事を迎えました。今年度も会員向けの事業の充実、会員への情報提供の強化、会員数の増強及び組織強化、新包装管理士のバックアップなど、理事全員で取り組んでまいります。また関東支部の50周年も近づいておりますので、50周年記念プロジェクトをスタートします」と力強く挨拶がありました。



挨拶をする古平関東支部長

「第4回包装研究会」を開催

関東支部 理事 道明 誠 (23期)

2018年2月7日(水) 15:30から、(株)文昌堂10F貸会議室において、第4回包装研究会を開催し、会員・講師を含め14名の参加がありました。今回の研究会は52期包装管理士講座を修了された新管理士3名の講師によるご発表で、最初はライオン(株)の高津衣世様 テーマ名「女性用育毛剤『Fleuria』大容量タイプの開発」、2番目は、王子コンテナ(株) 東享佑様 テーマ名「コーナー補強型トレイ『オクトボックス』の開発」、3番目は、花王(株) 大杉崇様 テーマ名「かんたん計量機構を有する新しい液体計量容器の開発」生活者包装コースから2件、輸送包装コースから1件の内容でご発表頂きました。

意見交換会では、聴講者から「実際にアイデアミーティングはどのようにされているのか?」といった業務に直結した質問なども出され、活発な意見交換を行いました。

新管理士によるご発表は、ここ数年定例化していますが、毎回、本当に素晴らしい内容となっています。もっと多くの包装管理士の皆様や、これから包装管理士を目指す皆様にぜひ聴講していただきたい、と切に感じた次第です。



第4回包装研究会



ライオン(株) 高津衣世氏



王子コンテナ(株) 東享佑氏



花王(株) 大杉崇氏

「中国 上海視察報告会」を開催

関東支部 理事 道明 誠（23期）

2018年2月7日（水）18:30から、(株)文昌堂10F貸会議室において、中国 上海視察報告会を開催し、14名の会員が参加しました。

IPP関東支部のメンバー 6名が2017年11月7日～10日、中国の上海新国際博覧中心で開催された“2017SWOP”を視察し、興味を引いた展示について報告しました。また、中国の経済状況、上海市内の交通事情、QRコードによる商取引の現状、上海、蘇州の寺院、庭などの世界遺産の情報についても併せて報告しました。中国ならではの文化、習慣なども感じられる報告会となりました。本報告会は、視察に参加した全員が、ご自身で撮った写真や、調べたことを持ちより、盛りだくさんの内容となりましたので、予定していた意見交換会の時間は僅かでしたが、大変有意義な報告会となりました。

今回の海外視察は、ぜひ初めての方もご参加ください。一緒に海外視察しましょう！ お待ちしております。



大野豊氏



朝倉久男氏

2018年春の見学会

関東支部 理事 田村 正幸（27期）

2月15日木曜日に日清オイリオ(株)磯子事業場とカップヌードルミュージアム横浜の2箇所を見学しました。

日清オイリオ(株)磯子事業場は日本最大級の製油工場とすることで、食用油をはじめ植物性たん白食品、化粧品原料を製造しています。天然ガスで走る見学専用バスで、広大な工場敷地内を巡回。メインの食用油工場内を見学しました。食用油のPETボトル等への充填、シュリンク包装ラインを見学通路より見てまわりました。国内最大級の生産規模とすることで、高速のラインには目を見張りました。

カップヌードルミュージアム横浜は、世界初のインスタントラーメン「チキンラーメン」を発明し、地球の食文化を革新した日清食品創業者 安藤百福氏の「創造的思考」を数々の展示を通じて体感することが出来る記念館で、見て、さわって、体験し楽しみました。各自オリジナルカップヌードル容器の作成体験をし、オリジナルトッピング具材をチョイスしお土産として持ち帰りました。その後赤レンガ倉庫内にて情報交換会を開催、しめくりました。



日清オイリオ(株)磯子事業場



カップヌードルミュージアム横浜

IPP写真研究会 活動報告と展示作品募集

IPP写真研究会会長 荒牧 哲

当研究会は写真を通じて楽しさを共有する集まりで、会員は18名、内1名が休会中です。関東支部からの活動支援金と研究会年会費で運営し、2018年前半に次の行事を開催しました。

2018年1月30日までJPIロビーに会員の年間傑作各自1点を展示。

2月03日（土）、アサヒビールゲストルームで総会、小写真展兼新年会を23名の参加を得て開催。年間行事と全員の役割分担を決め、おいしいビールと共に、各自の作品3点への講師講評受ける。（写真掲載）

3月03日（土）、梅香る小石川後楽園で撮影会の後、居酒屋で懇親会。

3月31日（土）、川崎市生田緑地の日本民家園で満開の桜を撮影後、そばと日本酒を味わう。

5月12日（土）、川崎コリアタウンで焼き肉の後、工場夜景を撮影、帰路で東京の夜景も楽しむ。

6月09日（土）、菖蒲と紫陽花が咲く葛飾区水元公園で撮影会、懐石料理と日本酒を堪能。

年後半は、8月に写真展に向けての講師アドバイス会、9月に臨時撮影会、10月に写真展、11月に秋季撮影会を予定しています。



小写真展＆新年会

開催案内

楽しい写真展（第14回IPP写真研究会展）
2018.10.18～10.23 横浜市山手234番館

出展作品募集

楽しい写真展に出展する作品を募集します。

会場は横浜の観光スポットで1000人を超える入場者数が見込まれます。

IPP会員に限定、1人1点、A3サイズ、出展料なし。

9月25日締め切り。

出展希望の方は、メールタイトルを「写真出展」とし、IPP事務局へ発信ください。

また、写真展出展は無理だが、研究会に参加してみたいという方もIPP事務局へ。

“Wippl”メンバー募集

“Wippl”は関東で活動している女性包装管理士のコミュニティーです。
本格的活動に向けてメンバーを募集しています。

- *包装関係展示会（東京パック等）の見学、説明：自社出展ブースの説明や業界動向等の解説
- *ミニセミナー：お互いの人脈や興味関心を元に、テーマを設定
- *見学会

等々を通して、遠慮なく気軽に情報交換していきたいと考えています。

周囲の女性包装管理士の方にも活動参加を是非お勧めください。

★ご参加・お問い合わせ先：IPP関東支部 事務局 ipp@pk9.so-net.ne.jp

5月25日に関西支部定時総会が開催され、桃川支部長を含め7名の運営委員が承認されました。本年度もミニセミナー、見学会、W会との合同セミナー等を主体にした活動を展開して行きます。会員の皆様には関心のあるセミナーには是非ご参加して頂きたいと考えています。これら催しには会員の皆さまの他、一般の方の参加も多く、広く交流の場となっています。本誌が発行される頃には既にW会との合同セミナーと夏季見学会は開催済みとなっていますが、9月以降からミニセミナーの開催が予定されています。

会員の皆さまには都度ご案内をして行きますが、情報収集と交流の場として活用して頂きたいと思っています。以下2017年度後半から直近までの活動内容をご紹介します。

◆ミニセミナーの開催

◇第35回 2月22日

「株主優待ギフトにおける入れ方変更及び仕切りの改良による包装改善」

講師：(株)トーモク開発営業部 鈴木 晶子氏

「インドネシアの包装市場とASEANの最新情報について」

講師：(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 教育情報部 羽馬 友子氏



鈴木講師



羽馬講師



交流会にて

◇第36回 3月29日

「物流事業の安全活動における技術開発の取組み」

講師：山九(株)技術・開発部 四ヶ所 春樹氏

「日本の長寿企業について・・・世界で一番多い日本の長寿企業・・・」

講師：幸和金属(株)阪和ホーロー(株) 顧問

稲葉 義昭氏 (元(株)ハーマン取締役)



四ヶ所講師



稲葉講師

◆2017年度／2018年度 関西支部 総会
2018年5月25日 於：大阪市立総合生涯学習センター
(大阪駅前第2ビル5F)



定時総会



前川講師



桃川支部長挨拶（左）



濱田博士

◆第9回W会との合同研究会 6月20日
〔W会：女性だけの包装研究会〕
「プラスチック射出成型工場のIoT」
講師：アスカカンパニー(株)評価センター
前川 明日香氏
「幻想，現実，そして魔法：人類学から考える消費
社会におけるパッケージの象徴的役割」
講師：大阪樟蔭女子大学学芸学部ライフプランニング
学科 博士（人類学）濱田 慎吾氏



集合写真：チョー華やか！
(前列左より) 桃川支部長、濱田博士と女子大生二人、
前川講師、遠藤代表の順



セミナー風景



交流会：女子大生も参加、濱田博士と前川講師と一緒に



つつむ君

編集後記

この度の西日本地方の豪雨により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、早急な回復を祈念申し上げます。

本部や支部の定時総会もすべてが終了しました。詳細な報告が今号に掲載されておりますが、ホームページの閲覧とあわせて会の活動状況をご確認いただき、自己啓発・自己研鑽のために、活動へ積極的な参加をお願いいたします。

編集委員 井上伸也 (5期)

日本包装管理士会 / Institute of Packaging Professionals, Japan

e-mail: ipp@pk9.so-net.ne.jp
<http://www.ippj.net/>

■本 部	〒 104-0045	東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■北海道支部	〒 060-0004	札幌市中央区北一条西 2 丁目 北海道経済センタービル 北海道生産性本部内	☎ : 011-241-8591 fax : 011-241-3898
■東北支部	〒 021-0893	岩手県一関市地主町 3-35 株式会社 東北ウエノ内	☎ : 0191-21-4531 fax : 0191-21-5381
■関東支部	〒 104-0045	東京都中央区築地 4-1-1 東劇ビル 10F 日本包装技術協会内	☎ : 03-3543-9250 fax : 03-3543-8970
■中部支部	〒 450-0003	名古屋市中村区名駅南 4-1-2 17 日通ビル 2F 日本包装技術協会内	☎ : 052-563-7110 fax : 052-563-7123
■関西支部	〒 550-0014	大阪市西区北堀江 1-1-27 イマイビル 4 階	☎ : 090-4305-3906 (携帯・桃川) fax : 06-6606-8768
■西日本支部	〒 838-0068	福岡県朝倉市甘木 2144-11 中村包装管理士事務所内	☎ : 0946-22-3798 携帯 : 080-5263-2144

Copy & FAX 用切取線

日本包装管理士会会員登録データ変更届

■宛先 日本包装管理士会事務局 fax : 03-3543-8970 ☎ : 03-3543-9250

フリガナ

氏 名 会員番号 番 平成 年 月 日届

会 社	社 名					
	所 属					
	住 所 〒					
	TEL	FAX				
	E-mail					
自 宅	住 所 〒					
	TEL	FAX				
	E-mail					